

現況測量・用地測量について

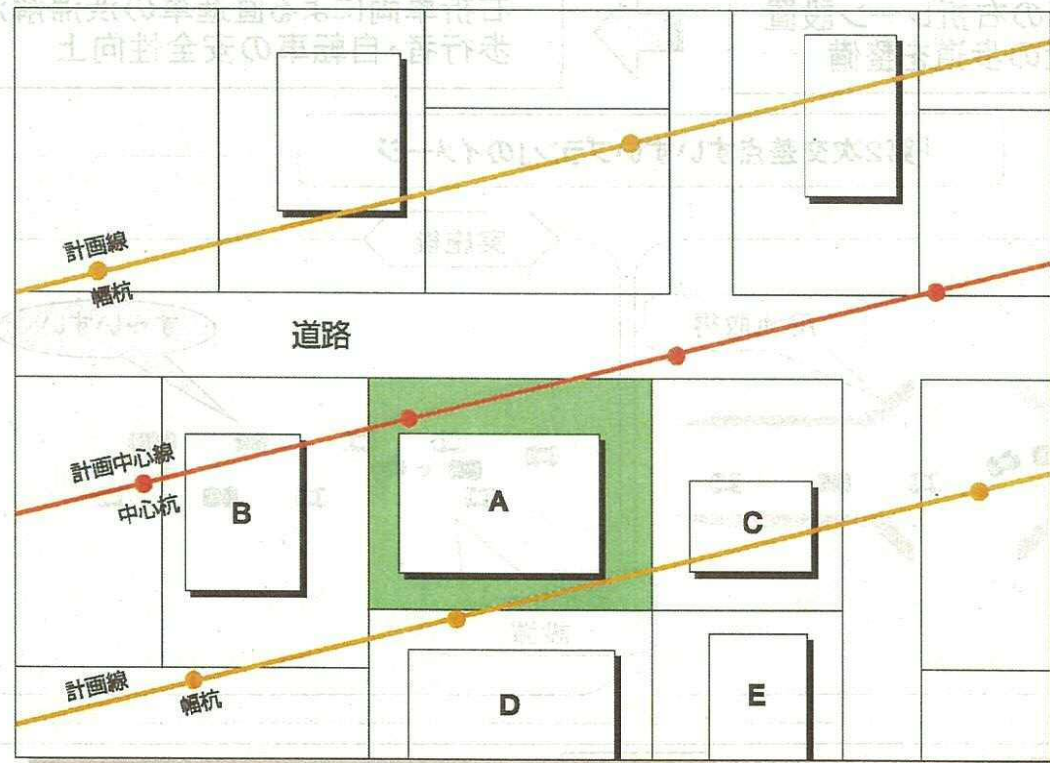
○ 現況測量とは（平成19年度予定）

道路予定区域及びその周辺の土地の起伏や現在ある建物、塀、道路等の形状を調査し、地形・土地利用を表す現況平面図を作成します。次に、これに計画道路線を書き入れます。また、現地には計画線の中心線を示す中心杭（赤丸）を設置します。（建物の形状調査や現地に中心杭（赤色）を設置する際には、皆様の土地への立ち入りをお願いすることになります。（下図参照）

○ 用地測量とは（平成20年度予定）

用地取得の対象となる土地について、周辺の土地との境界を確認のうえ、用地取得対象面積を確定する作業です。下図では、例えばAさんの場合、BさんやCさんだけでなく、DさんやEさんにも境界を確認するために立会いをお願いし、Aさんの用地取得対象面積を確定します。この際、現地には計画線の幅を示す幅杭（橙色）を設置します。

※現況測量、用地測量とも測量作業を行う者は、腕章を付け、東京都発行の身分証明書を携帯しております。



お問い合わせは

東京都北多摩北部建設事務所 工事第一課

〒190-0023 東京都立川市柴崎町2-15-19

○事業に関すること 設計係 電話 042-540-9516

○測量に関すること 測量係 電話 042-540-9517

平成19年11月

主要地方道所沢府中線（第17号）府中街道 一般道道恋ヶ窪新田三鷹線（第134号）連雀通り 【第2次交差点すいすいプラン（恋ヶ窪）】

事業概要及び測量説明会

日時 平成19年11月21日（水）

午後7時から午後8時30分まで

場所 JA東京むさし国分寺支店

2階 大会議室

 東京都北多摩北部建設事務所

第2次交差点すいすいプラン(恋ヶ窪)のあらまし

【国分寺市東戸倉一丁目地内から同市東恋ヶ窪五丁目地内】

事業概要

渋滞の緩和

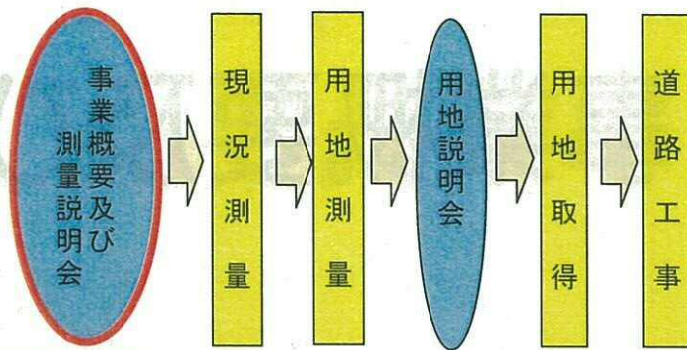
歩行者の安全

- ① 所沢府中線(府中街道)に右折レーンを設置します。
 - ② 恋ヶ窪新田三鷹線(連雀通り)に右折レーンを設置します。
 - ③ 両側に幅員1.5~2.5mの歩道を設置します。
- 期間：平成20年度～(概ね5年間)

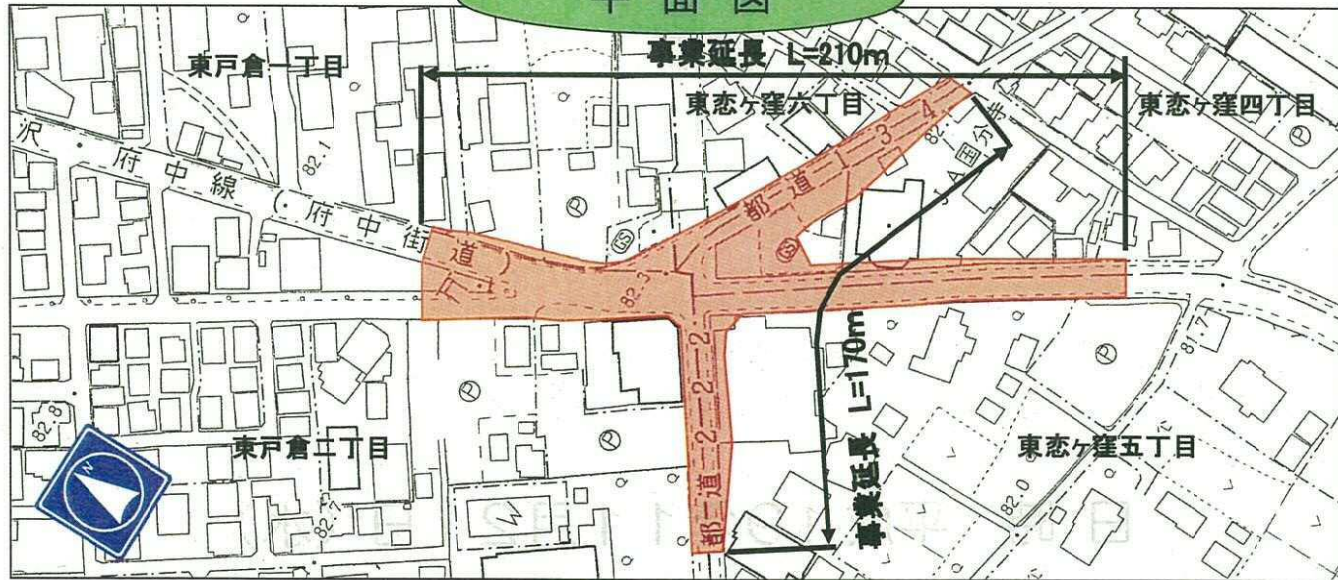
道路の概要

主要地方道 17号線 一般都道134号線 一般都道222号線	国分寺市東戸倉一丁目 及び二丁目 同市東恋ヶ窪四丁目・五丁目 及び六丁目
延長	合計約 380 m
幅員	9.0~15.0 m
車線数	2車線

事業の流れ



平面図



断面図



「第2次交差点すいすいプラン」について

これまで、

『交差点すいすいプラン100』

東京都では、慢性的な交通渋滞を緩和するために、平成6年当時、都市計画道路の整備率が40%であった多摩地域を中心に、比較的短期間に効果が発揮できる「交差点改良事業」を重点的に取り組むこととし、『交差点すいすいプラン100』を策定しました。

その結果、渋滞緩和の効果が現れています。

五日市街道と府中街道
上水本町交差点

府中街道と武蔵台通り
西東京警察病院入口
交差点

これから、

『第2次交差点すいすいプラン』

東京都では平成16年度、渋滞緩和の効果をより実感できるように、「点の効果」から「線の効果」への拡大を進めるため、既に『交差点すいすいプラン100』で対策を実施した交差点との連続性や他事業との連携を考慮して整備箇所を選定を行い、新たに『第2次交差点すいすいプラン』を策定しました。

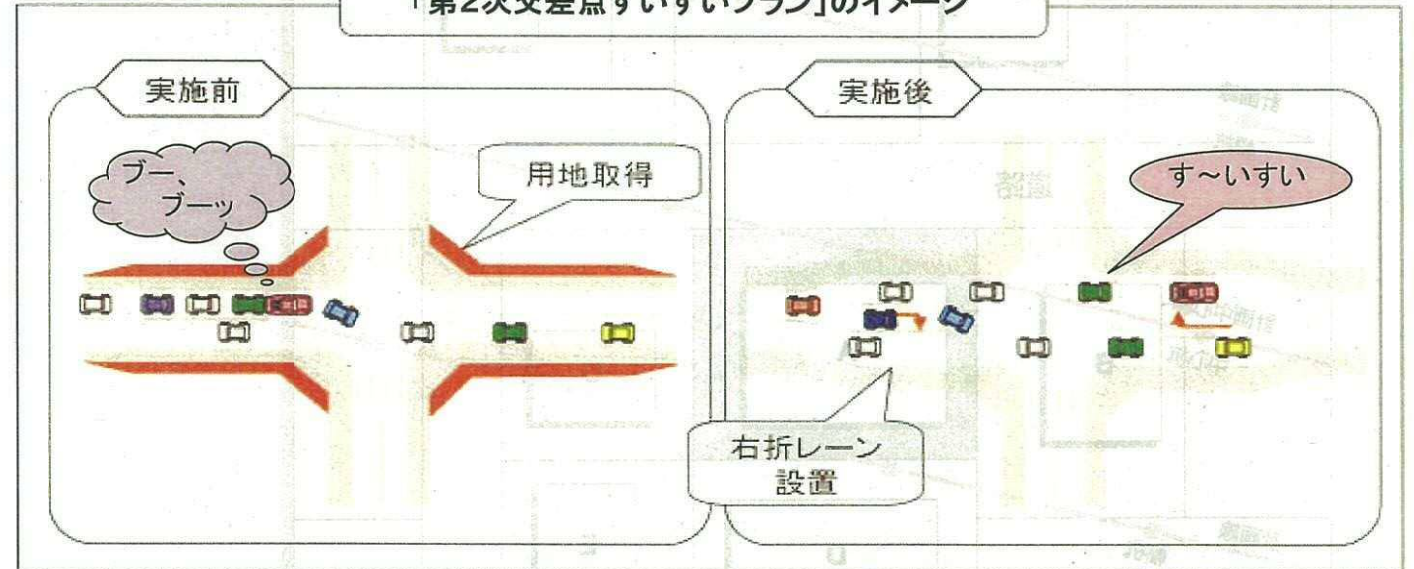
整備内容

交差点部での右折レーン設置
交差点付近の歩道を整備

整備効果

右折車両による直進車の渋滞解消
歩行者・自転車の安全性向上

「第2次交差点すいすいプラン」のイメージ



上水本町交差点(小平市)

実施例

